

# 中富小だより

所沢市立中富小学校 学校通信第7号  
平成30年10月1日発行

## 学校教育目標

「なかよく かしこく たくましく」

## 三つの約束

- あいさつ
- 整理整頓
- 時間を守る

|       |      |     |     |
|-------|------|-----|-----|
| 1年生   | 51名  | 4年生 | 57名 |
| 2年生   | 50名  | 5年生 | 54名 |
| 3年生   | 54名  | 6年生 | 62名 |
| 全校児童数 | 328名 |     |     |

## 健康について考える

ビオトープ周りにある萩と、PTA・ボランティアの皆様にご提供いただいたコスモスが優しく花を広げています。“暑さ寒さも彼岸まで”とはよく言ったものです。夏から秋へと季節の移り変わりを実感するこの頃です。

先月10日(月)・11日(火)には栃木県日光市方面への修学旅行に行きまして。6年生の子どもたちは、互いに声を掛け合い、自主的・主体的な活動ぶりで、今年も大変素晴らしい修学旅行となりました。7月には5年生も林間学校でしっかりと活動でき、6年生と5年生が、中富小学校の良き伝統をまた一つ積み重ねてくれました。ご協力いただきました保護者の皆様にはあらためまして感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



修学旅行2日目：湯ノ湖 湖畔での朝の集い風景

さて、9月は「健康増進普及月間」でした。そしてこの10月には、健康保険組合の制定による「健康強調月間」という位置づけもあるようです。そこで“健康にある”ということについて今一度考えてみることにしました。

## 校長 関根 祐一

“健康”については、WHO（世界保健機関）憲章で「健康とは、肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」と定義されています。

この定義がとても大切なのではないかと考えます。もちろん、疾病がなく身体的に健康であることは、とてもよいことですが、それだけではなく、安心できる居心地のよい集団（社会）があって、心の面でも安定している。そのバランスの中に“健康”があるとみることができず。さらに広く捉えるならば、疾病の経験等があっても、穏やかで前向きな心の在り方と、コミュニティの中での認め合い・支え合いがあれば、健康でいられる、元気であることができるということなのではないだろうかと思うのです。

学校も一つの大きなコミュニティです。子ども一人一人が、上記の意味での“健康”でいられることができる中富小学校でありたいとあらためて思うところです。

今月もご支援・ご協力をいただけますようお願いいたします。

## お知らせ

4年6か月に渡り、本校の午前中の様々な庁務を担当されてきた深津 信夫 庁務手が、9月28日の勤務をもって退職されました。大変お世話になりました。